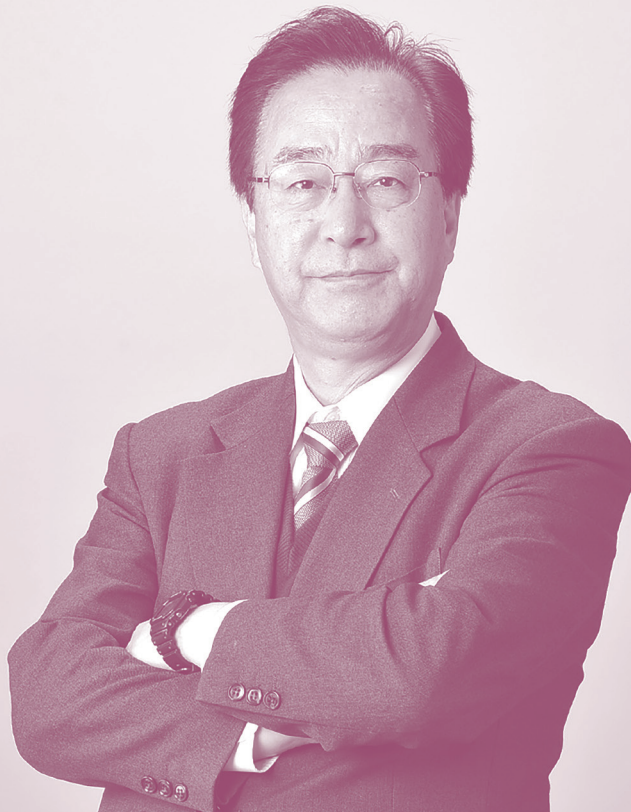


「温暖化の 虚と実」



大気科学者
田中博
名誉教授が語る

「気候危機は存在しない」宣言の衝撃!

講演者 **田中 博** 筑波大学名誉教授

「地球温暖化ってナニ?」と聞かれたら、今どき、だれもが「人間が石油や石炭を使って出たCO₂(二酸化炭素)などの温室効果ガスが増えて、気温が上がりが続けていること」と答えるでしょう。多くの人が信じている、この「人為的CO₂温暖化説」の根拠は、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書です。

そして今、世界各国は、温暖化が進むと異常気象などの「気候危機」が来るとして、なだれを打つように「脱炭素政策」へとシフトしています。日本でも太陽光や風力などの再エネ発電や原発、EV(電気自動車)の普及などに10年間で150兆円を支出する政策を打ち出し、この巨額の資金に企業が群がっています。

ところが最近、このIPCCの見解をくつがえす衝撃のニュースが舞い込んできました。なんと、「気候危機は存在しない」、「脱炭素政策は有害かつ非現実的」とする「世界気候宣言」を、世界の科学者が2019年に発表したのです。今や60以上の国・地域の1900名以上の研究者が署名。ノーベル物理学賞を受賞した米国のジョン・F・クラウザー博士が署名したことでも話題になりました。

この「宣言」に署名した日本の科学者の一人が、大気科学者の田中博 筑波大学名誉教授で、「自然変動が大きい温暖化のほぼ全てを人的変動としてきたのは大きな過ちだ」と述べておられます。今回の講演では、データを使いながらビジュアルに「地球温暖化」の「虚と実」を読み解いていただきます。

河合塾生はもちろん、広く中高生・高卒生、保護者の方々などの参加をお待ちしています。

(小論文科講師 神坂 直樹)

講演会日時・会場

6月30日(日)

14:00~16:00 河合塾 大阪校

開場は13:30

■田中 博 名誉教授 プロフィール■

1957年生まれ。米国でPh.Dを取得しミズーリ大学やアラスカ大学での研究生生活を経て、筑波大学計算科学研究センター教授。昨年、定年退職し、筑波大学名誉教授に。専門は大気科学。日本気象学会常任理事を長年務める。著書に「偏西風の気象学」、「地球大気の科学」、「はじめての気象学」など。NHK高校講座「地学」を10年間担当。放送大学「はじめての気象学」を担当中。

入場無料・申込制

こちらより
お申し込み
ください▶



※教室の定員を超えた場合は、その時点でご参加を締め切りますので、ご了承ください。

河合塾 大阪校
06-6375-8581

〒531-0072
大阪府大阪市北区豊崎3-13-1

【アクセス】

- 地下鉄御堂筋線中津駅4号出口から徒歩2分
- 阪急大阪梅田駅茶屋町口から徒歩6分
- JR大阪駅から徒歩11分